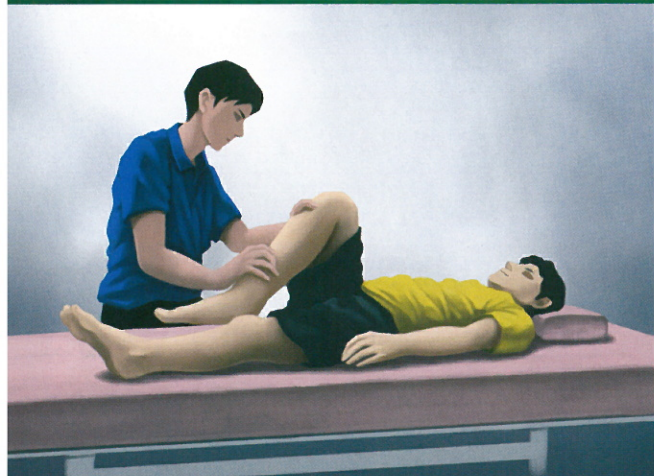


スポ
Spo ken
医検

あらゆるスポーツに関わる皆さまへ

第10回 スポーツ医学検定



開催日 **2021年11月28日(日)**

検定申込締切: **2021年10月8日(金) 正午**

◎検定会場 札幌、東京、横浜、名古屋、大阪、福岡(1級~3級)
仙台、前橋、神戸、沖縄(2級・3級)

◎資格 誰でも受検できます

◎検定料 3級 4,800円 2級 5,400円 1級 7,800円

*併願割引: 3級・2級 9,800円、2級と1級 12,400円

スポーツ医学検定とは

一般の人を対象にした、身体のことやスポーツによるケガの知識を問う検定試験です。本検定で得られた知識を①ケガの予防、②ケガからの競技復帰 ③競技力の向上に活かします。

詳しくは

スポーツ医学検定



<https://spomed.or.jp/>

スポーツ医学検定公式アプリ

過去問、新型コロナウイルス感染症からのスポーツ再開、スポーツ医学英会話などの情報があります。(一部有料)

登録
無料

パソコン *過去問は有料です

<https://spomed.schoiz.jp/>



公式テキスト

2級・3級 改訂版

定価2,090円(税込)

1級

定価2,970円(税込)

好評
発売中



公式過去問題集 2級・3級
定価2,200円(税込)

◎ご購入はこちらから

・Amazon・東洋館出版社

『スポーツのケガを減らし、笑顔を増やす』

スポーツ医学検定の理念

近年、スポーツに対する社会の関心は高まっていますが、華々しいスポーツの舞台裏では、ケガのためにパフォーマンスが出ない選手、長期の競技離脱が必要な選手、引退を決意する選手がいます。また、スポーツが広く根付く社会を築くには、トップレベルのアスリートのみでなく、子供から高齢者までが安全で楽しくスポーツに取り組める環境が必要です。

私たちは、より安全でケガの少ないスポーツ環境を作るため、メディカル関係者が持つスポーツ医学の知識を、スポーツ指導者・スポーツ選手の保護者・マネージャー、そしてスポーツ選手自身に広めたいと考えました。「スポーツ医学検定」を通じてスポーツ選手のケガが減少し、それが競技力の向上や日本のスポーツの発展につながれば幸いです。



各級の目安

3級
ベーシック

身体やスポーツのケガの最も基本的な知識が問われます。スポーツ医学に初めて触れる人は、ここから目指しましょう。
→スポーツ選手自身、成長期の選手の保護者、部活のマネージャーなどにおすすめ

身体やスポーツのケガのより詳しくより広い知識が問われます。スポーツを指導する人はここを目指しましょう。
→スポーツ指導者、部活の顧問、スポーツ系/体育系の学生などにおすすめ

2級
アドバンス

身体やスポーツのケガの専門的な知識が問われます。スポーツメディカルに関わる人はここを目指しましょう。
→スポーツメディカルに関わる人、関わりたいと思っている人などにおすすめ

1級
マスター

ウェブで受検できるスポーツ医学Web検定(初級)のことで、3級相当の問題が出題されます。会場受検前のトライアルにどうぞ。

Web検定

初級
ビギナー

スポーツ医学検定合格認定カード

スポーツ医学検定の合格者の皆さままでご希望の方に、合格認定カードを発行いたします。



価格 2,500円(配送手数料込)
※申込期間外や再発行時は、4,500円。
◇材質 プラスチック
◇サイズ 免許証サイズ
◇印字内容 級、氏名、認定日

スポーツ医学検定
応援キャラクター
ハッスルスポケン
のLINEスタンプ
発売中



こちらから



日本ラグビーフットボール協会
コーチングディレクター

中竹 竜二



みなさん、スポーツは好きですか？するのが好き、観るのが好き、教えるのが好き、何か手伝うのが好き。そう、スポーツにはさまざまな関わり方があります。何かしらスポーツに関わる全ての人を「スポーツファミリー」として考えた場合、それはとても大きなコミュニティが生まれます。このスポーツ医学検定は「選手の安全」を継続・進化させるための柱となるでしょう。ぜひ、スポーツファミリーを広げていきましょう。

マラソンランナー
スポーツコメンテーター

谷川 真理



スポーツ選手はトップを目指すほどケガのリスクをとまいません。また、ただやみくもに練習をしてしまうほど怖いものはありません。スポーツ医学検定で故障をする前に正しい知識を得ることによって、未然にケガを防ぐきっかけにもつながります。自分の身体のことを知ってより長くスポーツを継続できることを願っています。

パラリンピック水泳
東京オリンピック・パラリンピック競技大会
組織委員会理事

成田 真由美



体のこと、体のもつ可能性のこと、ケアのことなどをきちんと判断できる人が増えることは、スポーツ界のすそ野を広げることにつながります。世界に通用する選手を一人でも多く育てるためにも、スポーツを長く続けたい人を増やすためにも、スポーツ医学検定に可能性を感じています。

パートナー： 育英メディカル専門学校/日本総合医療専門学校/久留米大学 人間健康学部 スポーツ医科学科/東洋館出版社
学校法人 葵学園(埼玉医療福祉専門学校、葵メディカルアカデミー)/学校法人 花田学園(東京有明医療大学、日本鍼灸理療専門学校、日本柔道整復専門学校)
学校法人 横浜 YMCA スポーツ専門学校/Stadio Gullit/公益社団法人 大阪府柔道整復師会 大阪府柔道整復師会専門学校
RUNNING CLUB JAPAN<一般社団法人日本ランニングクラブ協会>/株式会社SUW/専門学校 社会医学技術学院/北海道スポーツ専門学校/合同会社 OneSelf
福岡医健・スポーツ専門学校/福岡大学 スポーツ科学部 スポーツ医学研究室/学校法人小倉学園 新宿医療専門学校/株式会社 encounter/埼玉県立大宮東高等学校
学校法人 米田学園 米田柔道専門学校/学校法人 朝日医療学園 朝日医療専門学校 広島校/「礎」教育総研/大阪国際大学 スポーツ行動学科/信州スポーツ医療福祉専門学校
藤村女子中学・高等学校/日本健康医療専門学校/学校法人 平成医療学園 名古屋平成看護医療専門学校/株式会社ドリームパーク
神戸医療福祉大学 人間社会学部 健康スポーツコミュニケーション学科/専門学校 沖縄総合医療学院/ラグスタ株式会社/学校法人 和風会 多摩リハビリテーション学院専門学校

※パートナーを希望される学校・団体様はホームページをご覧ください。